

「サイエンスカフェ in 静岡」第 165 話（2023 年 7 月 6 日）
テーマ：「岩石・鉱物から火山を探る」
講師：石橋 秀巳（静岡大学理学部地球科学科・准教授）

会場・オンライン講演

■ 参加人数 75 名（会場：46 名 オンライン：29 名）

■ アンケート回答人数 38 名（会場：38 名）

■ ご職業

会社員：4	公務員：2	教員：1	自営業：4
主婦・主夫：3	小学生：0	中学生：1	高校生・高専生：11
大学生・大学院生：0		その他：12	不明：0

■ 年齢

19 歳以下：12	20 歳代：0	30 歳代：0	40 歳代：2
50 歳代：3	60 歳代：10	70 歳代以上：10	不明：1

■ ご住所

葵区：6	駿河区：7	清水区：12	富士市：2
焼津市：2	藤枝市：7	島田市：1	富士宮市：0
浜松市：1	静岡県内その他：0		静岡県外：0

■ この企画をどのようにお知りになりましたか。（複数回答有）

継続参加による周知：21
静大のサイエンスカフェホームページ：6
サイエンスカフェのポスター（学校やバスで掲示されているもの）：14
SNS を通じて（サイエンスカフェの Twitter を含む）：0
職場などの情報回覧：0 知人の紹介：1 チラシ：4

■ 講演内容についてのご意見や感想・質問などをご自由にお書きください。 （19 歳以下）

- 身近な火山の噴火の規模など、くわしく火山について聞くことができ良かった

です。また、機会があれば参加したいです。

- 火山 A、火山 B のように、噴火前条件がほぼ同じなのに、噴火の規模が変わるのが驚き、結晶ができるかによっても変わることが一番驚いた。
- 専門用語が多く、分かりづらい所もあったが、岩石や鉱物については前々から興味を持っており、火山と合わせて学ぶ機会になって良かったと思います。
- 岩石・鉱物を研究することで歴史や物理の学びにつながると知り興味を持ちました。日本は、鉱物を学ぶ上でよい環境なので学んでみたいと思いました。
- 火山の噴火のメカニズムの破碎が起こって爆発的噴火が起こることには驚きました。伊豆大島の A 火口と B 火口の噴火が、様式、組成、場所が同じなのに違う噴火であることは面白いと思った。
- 噴火の規模が大きいほど頻度が低いことを聞いていつ ASO-4 噴火のような超巨大噴火が起きるのか不安になりました。岩石について調べることは過去と情報を有すると書いてありましたが、未来、いつ噴火するのは予測できるのか気になりました。
- マグマの粘り気によって、噴火の規模に違いがある現象は、マグマの温度によって引き起こされる、破碎が原因ということを知りました。中学の内容をより深めることができ楽しかったです。

（ 40 歳代 ）

- 大人になっても知らないことを学ぶのは興味深く楽しかったです。

（ 50 歳代 ）

- 大変勉強になりました。ありがとうございます。
- 学生さんがたくさん居て、雰囲気良かったです。

（ 60 歳代 ）

- 大変おもしろかったです。（まったくの素人です…）
- ありがとうございます。組成は同じなのに、A・B の違いにはびっくりしました。中学では温度と成分で教えるので（53.5%、54%）変わらないのにびっくりしました。
- 総論→各論 とても分かりやすかったです。ありがとうございます。
- 大変わかりやすく説明していただき面白く拝聴させていただきました。特に大島の高温低温マグマの爆発、流出等差が出る影響は驚きました。

(70歳代)

- 火山というと山を見てしまうけれど、そればかりでない。岩石の研究の話は、とても面白かったです。噴火の違いとか、岩石の成分とか、模様、重さなどの研究が楽しそうでした。昔は、岩石標本を見て色や重さくらいしか見ていなかったのが目新しい見方でした。石を色々見せていただきありがとうございました。
- 岩石・鉱物を研究すると、現在に至るまでの歴史がわかったり、火山噴火の大きさ（規模）、形態等を知ることができたりと、古文書みたいなものだと知りました。今後、富士山が噴火するのではと予想されていますが、規模はどのくらいなのか心配です。ありがとうございました。
- 興味深いお話ありがとうございました。
- 大昔、習った時代からすると随分進んだと感ず。有益でした。